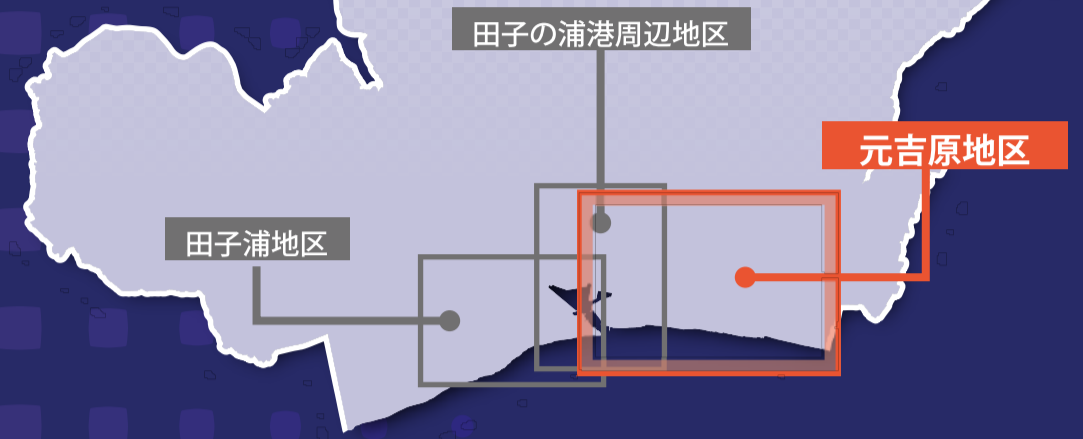


富士市津波避難マップ

Tsunami Evacuation Map Mapa de evacuação em caso de tsunami



津波避難マップとは What is the Tsunami Evacuation Map? O que é o mapa de evacuação em caso de tsunami?

この津波避難マップは、科学的に考えられる最大クラスの地震津波から命を守るため、家族や地域で話し合い、適切な避難行動を身に付け、継承していくために作成しました。また、防災において重要な地域性を知っていたために、地域にお住まいの方のご意見も盛り込んでいます。

The Tsunami Evacuation Map was created in order to protect residents in the event that a major earthquake and tsunami should occur based on scientific projections. It was conceived in collaboration with the local community in order to provide an appropriate evacuation procedure to the residents that could be passed on to the next generation. In addition, this map includes the input from local residents in order to provide vital information about the area in the event of a disaster.

Este mapa de evacuação em caso de tsunami foi concebido para discutir com as famílias e as comunidades locais, ensinar e transmitir ações adequadas de evacuação e assim proteger a vida das pessoas contra terremotos e tsunamis de grande escala concebíveis cientificamente. Ele também incorpora a opinião dos moradores para transmitir as características locais que possam ser úteis na prevenção de desastres.

お問合せ先

富士市 総務部 防災危機管理課
Tel 0545-55-2715 Fax 0545-51-2040
E-Mail bousai@div.city.fuji.shizuoka.jp

富士市
平成 31 年 3 月改定

津波避難マップの使い方

How to Use the Tsunami Evacuation Map
Como usar o mapa de evacuação em caso de tsunami

この津波避難マップは、静岡県第4次地震被害想定に示された津波による浸水想定を示すだけのハザードマップではありません。以下に示すマップの作成方法を参考に、我が家の避難方法を家族みんなで考え、避難目標地点や避難経路をそれぞれ書き込み、マップを完成させて下さい。さらに、津波避難マップが完成した後も、訓練で検証していくことが重要です。

- 自宅付近の状況を確認する**
自宅の海拔や津波の浸水深、浸水にかかる時間を事前に確認します。
- 避難目標地点を決める**
避難目標地点は、避難対象区域内に長時間取り残される等のリスクを避けるため、原則として「避難対象区域外へ出る」を優先して決定します。市が指定した津波避難ビルやタワーにこだわる必要はありません。しかし、浸水が始まるまでに「避難対象区域外へ出ることが困難な場合は、やむを得ず、避難対象区域内の津波避難ビルや堅牢な建物の上層階に避難します。(隣近所の家であれば、事前に話し合っておきましょう)」
 - 津波避難対象区域
 - 津波浸水想定区域
 - 市指定津波避難ビル
 - 津波避難タワー
 - 近くの堅牢な建物の上層階
 - 津波避難対象区域の外側に避難
 - 万が一、逃げ遅れてしまった場合・足が早く速く避難することが困難な場合
 - 自宅や近所の2階部分等へ避難!
- 避難経路を決める**
 - 避難にかかる時間の計測をしましょう () 分
 - 避難のさまたげになるものは無い?
 - 地震で倒壊しそうな古い建物や高いブロック塀がある
 - 夜間の停電時に避難する場合、危険な段差・側溝がある
 - その他危険と思われるもの ()
- 避難訓練をして検証する**

大地震の直後に家を出るまでにかかる時間の考え方 (目安)

 - 揺れがおさまったらずきに避難できる人 4分
 - 大津波警報・津波警報を聞いてから避難する人 5分
 - 近所の人々の避難の呼びかけや行動を見てから避難する人 8分
 - 家族の支援をする人 4分 + □分
 - 家が被災して避難が困難な人 ?分

避難にかかる時間 + 避難開始時刻にかかると時間 = 浸水想定時間

> の場合は避難目標地点の再検討が必要です。

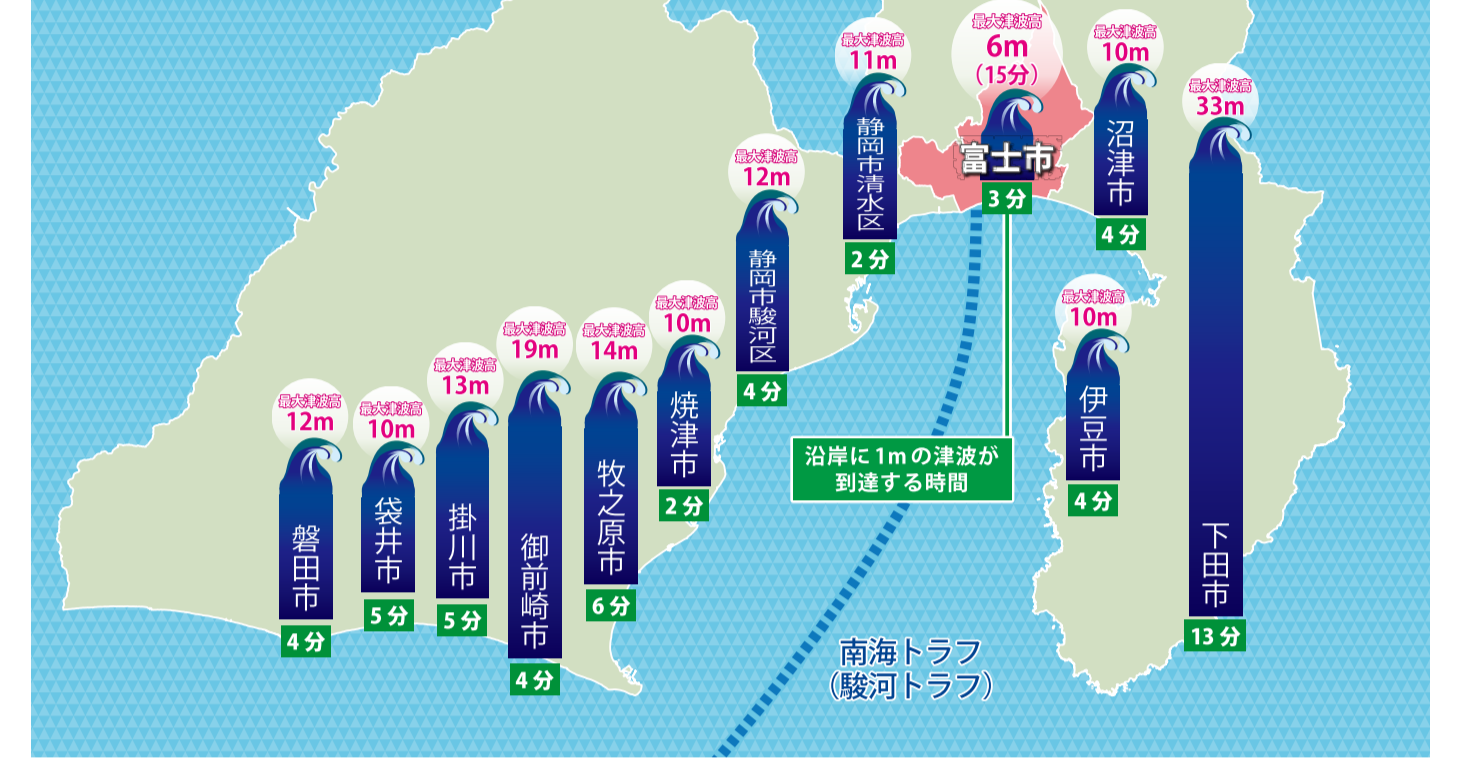
想定する地震と津波

Predicted Earthquake and Tsunamis
Terremoto e Tsunamis previstos

このマップは、平成25年6月に静岡県が公表した「静岡県第4次地震被害想定 (第一次報告)」をもとに作成しています。この想定で考えられているレベル2の地震は、発生頻度は千年～数千年に一度と極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす「最大クラスの地震」で、震源域は右図のとおりです。これは、「南海トラフ地震」と呼ばれ、東日本大震災や、最新の科学的知見を基に、あらゆる可能性を考慮して想定されたものです。従前より想定されてきた、東海・東南海・南海地震の3連動地震よりさらに広い震源域を設定しています。



一言に「津波」と言っても、地域によって、高さも到達時間も違いが出ます。この想定で考えられている静岡県内の最大津波高と津波が沿岸に到達するまでの時間は次のとおりです。



	津波高	津波の到達時間		
		1m	3m	最大波
富士市	6m	3分	11分	15分
石巻市	8.6m以上	—	—	40分

また、この想定を東日本大震災で石巻市を襲った津波と比較すると次のとおりです。富士市の津波高は、石巻市に比べて低いですが、最大となる津波が到達するまでの時間が非常に短いことがわかります。

東日本大震災との比較から学ぶ富士市の津波の特徴

Tsunami Characteristics Learned from the Great East Japan Earthquake
Características do tsunami da cidade de Fuji aprendidas pela comparação com o Grande Terremoto do Leste do Japão

- プレート境界と海岸の位置関係**
東日本大震災との震源域の比較
富士市の津波の特徴
プレート境界と海岸線の位置関係
津波の広がり方
東日本大震災を引き起こしたプレート境界 (日本海溝) と東北地方太平洋沿岸は「ほぼ平行」の位置関係にあります。一方、南海トラフ地震 (東海地震含む) を引き起こすと想定されている駿河トラフ (南海トラフの北端) と富士海岸の位置関係は、ほぼ垂直です。
津波の広がり方には特徴があり、プレート境界に対して、平行な位置関係にある海岸では、強く (高く) なるため、東日本大震災では甚大な津波被害がもたらされました。一方、駿河湾内で発生した津波は、平行方向に伸びる海岸では強くなりますが、垂直方向に伸びる富士海岸では、高くなりにくい特徴があります。
- 海岸地形**
海岸地形の違いも津波の高さに大きく影響します。東日本大震災で甚大な被害を出した東北地方の太平洋沿岸は、リアス式海岸と呼ばれる湾が入り組んだ複雑な地形をしています。一方、富士海岸はそれとは対照的に、直線的な地形をしています。
湾の奥では波が高くなる
- 震源域からの距離**
東日本大震災は、陸地から離れた沖合いを震源域にして発生しました。一方、南海トラフ地震 (東海地震) の震源域は私たちの暮らすすぐ近くで発生するため、津波の発生する場所も陸地の近くになります。このことから、津波の到達時間は非常に短くなるのが想定されています。

富士市を襲う津波の特徴

高くなりにくいのが、**地震発生** からの **“到達時間が短い”**

津波に関する情報

Information on Tsunamis
Informação sobre Tsunamis

とるべき行動

大津波警報 3m以上
津波警報 1m以上
津波注意報 0.2m以上

大津波警報・津波警報発表時
市は避難対象区域に **避難指示 (緊急)** を発令します

避難対象区域 = 津波浸水想定区域 + バッファゾーン

元吉原地区: 鈴川本町、鈴川町5、鈴川町4、鈴川町3
今泉地区: 依田橋
田子浦地区: 前田、前田新田、鮫島、田子、小須中丸浜、中丸丘、江川

※バッファゾーンとは、静岡県第4次地震被害想定上は浸水しないが、富士市独自に安全性を考慮し設定した区域をいいます。

沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに各自で定めた避難目標地点 (津波避難マップの使い方ページ参照) へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、避難指示が解除されるまで避難対象区域には立ち入らないでください。

津波注意報発表時
市は **漁業従事者、海岸付近にいる方等** に、**避難指示 (緊急)** を発令します

海の中にいる人、海岸付近にいる人はただちに海岸から離れてください。そして、津波注意報が解除されるまで、海岸に近づかないでください。

避難勧告 緊急性 中
人的被害の発生する可能性が高まった状況。危険区域外への避難を勧めます。

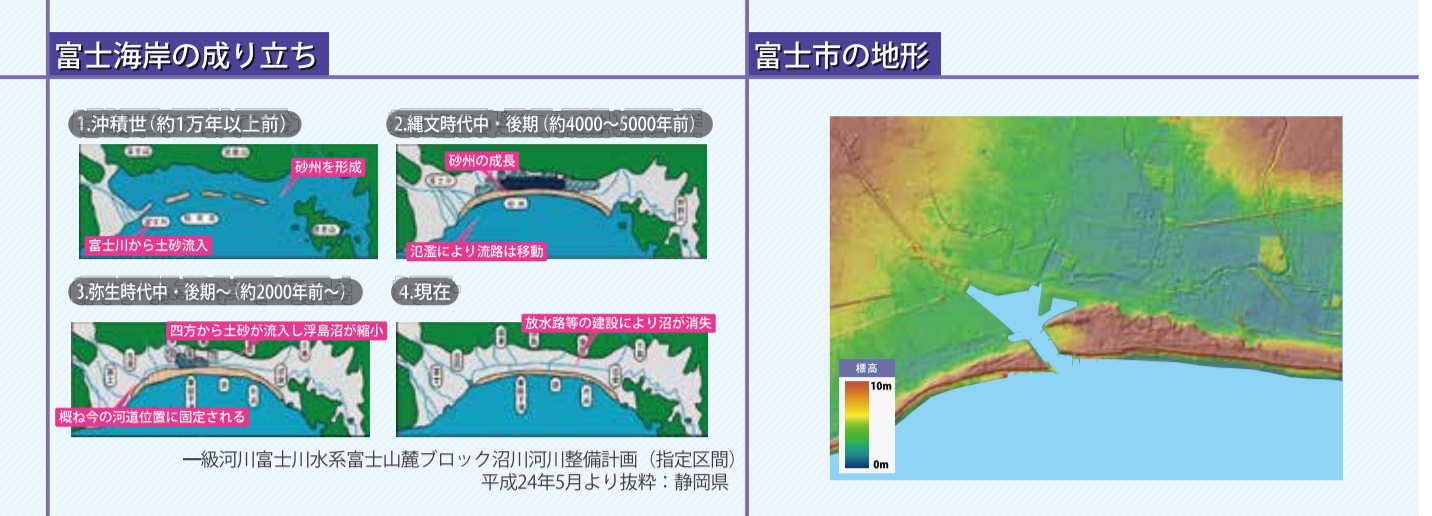
避難指示 (緊急) 緊急性 高
人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断したときに発せられるもので、「避難勧告」よりも緊急を要する場合に発令します。

津波警報・大津波警報発表には...
津波警報の第一報では、津波の高さは地震の規模や位置を基に推定します。しかし、マグニチュード8を超えるような巨大地震の場合は、精度のよい地震の規模をすくには把握できません。そこで、津波の高さを、「巨大」「高い」という言葉で発表して非常事態であることを伝えます。地震発生から15分ほどで精度のよい地震の規模が把握できた時点で、5段階の数値での発表に切り替えます。

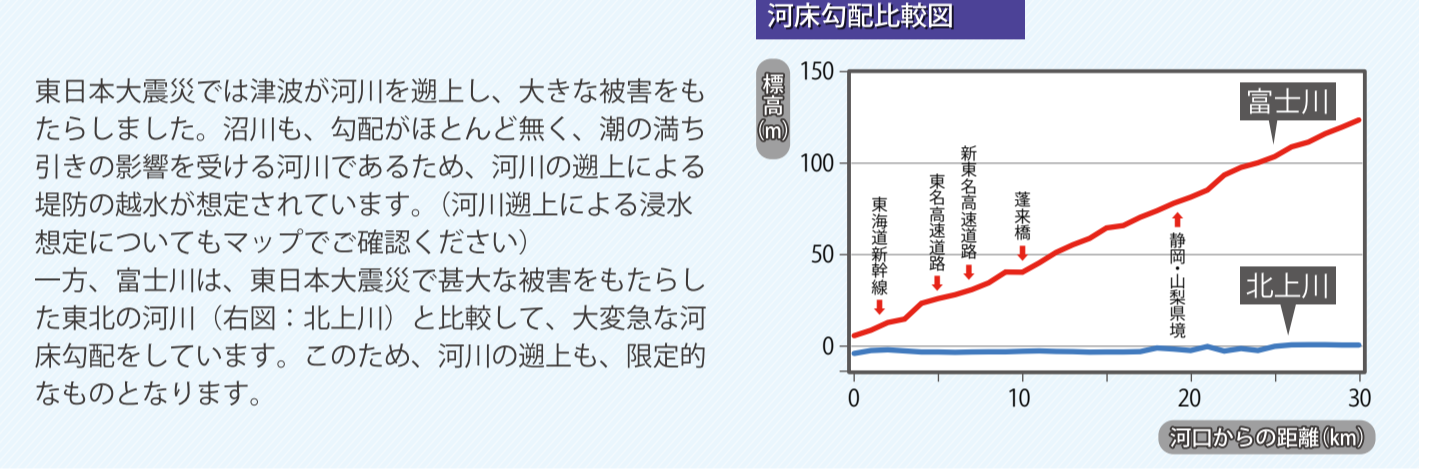
富士市の浸水の特徴

Characteristics of Flooding in the City of Fuji
Características das inundações na cidade de Fuji

下図「富士海岸の成り立ち」をご覧ください。富士川から海へ運ばれた土砂が、駿河湾の強い波によって砂州をつくり、沿岸部に海岸砂丘が形成されました。これにより、富士海岸は沿岸部の海拔が周囲に比べて高いという特殊な地形をしています (下図「富士市の地形」参照)。これは、天然の防潮堤とも言うことができます。



また、富士市の海岸線約10kmに渡り、海拔17mの防潮堤が建設されています。これは、東日本大震災で大きな被害を受けたコンクリートの直立式等の防潮堤と違い、盛土を厚さ50cmのコンクリートで覆ったもので、車が通れるほどの幅があります。さらに、東海地震の揺れを想定した耐震補強工事や老朽化対策などのメンテナンスも実施しています。一方、田子の浦港周辺では、船舶入港のため外洋に直結しています。



津波避難の心得

Tsunami Evacuation Information
Cuidados para a evacuação em caso de tsunami

揺れに対する備えを万全に!
揺れがおさまったらずきに避難できる人 4分

避難の情報を見聞きしたら迷わず避難する!
避難指示 (緊急) を発令したら、避難指示が解除されるまで避難対象区域には立ち入らないでください。

命を守る行動をとりましょう!
事前に避難目標地点を決め、避難経路を確認していても地震が発生したときに、何らかの理由で避難できないことが考えられます。そのようなときには、自宅の2階以上の場所や近隣の少しでも高いところに避難することを考えましょう。

避難に車は使えない!
大規模地震発生後は、障害物による道路の寸断や液状化など、交通障害の発生が予想されます。また、道路が通行可能であっても交通渋滞による逃げ遅れの可能性もあります。避難目標地点は徒歩で行ける場所を選び、平常時に避難経路を確認しておきましょう。

